

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・9・6(金)
南NEWS 63

嬉しいこと

- ① 4年生の青梅招待のテクニカルカードを見ると、午後錬で必ず練習しているターン・ライトアングルを試合で使った子が5人もいました。嬉しいです。ライトアングルを使ったのは、マサムネ君・アサキ君・カイリ君・カツヤ君、午後錬をGAMB Aっている4人と、最近入部のサモン君です。素晴らしい！！。カツヤ君のストップゴー、アサキ君の椅子の形も午後錬で必ず練習している技です。どちらも南の歴代のドリブルの名手、みんなが使っていた技です。
- ② 南OBのアマネ君が八王子市の中学選抜に入ったとの報告が中村元コーチよりありました。南のキャプテンとしてGAMB Aっていたアマネ君の努力の成果が認められたのです。とっても嬉しいNEWSです。
by 南の安版万



岡田尊司氏（精神科医・医学博士・京都医療少年院勤務）の著作を読むのは6冊目か7冊目です。人を指導したり、支援したりするときに参考にしたいことが書いてありました。紹介いたします。

『子どもの「心の病」を知る』

児童期・青年期とどう向き合うか

岡田尊司著 PHP新書 307P

…人を援助しようとするとき、今の状態をとにかく否定的にばかりとらえ、このひどいありさまを、早く良くしなければとか、もっと改善しなければとか、向上させなければと考えがちだが、そうした思いは一時的な改善をもたらしても、その後大きな悪化や崩壊を惹き起こすことにつながりやすい。向上心や上昇志向の強い人は要注意である。

本人が自ら変わりたいという気持ちをもち、少しずつ動き出すのを待つのが良い。その場合も、過負担にならないように、じわじわと進んでいくことが大切なのである。期待が大きすぎると、本人を追い詰めてしまうことにもなる。本人のペースを尊重し、居場所を脅かさないことも……大切である。…

南の活動で考えるとき、M-T-Mを大切に、できたことを認め、褒めながら、子ども達に試合(M)を振り返る時間を保障し、課題解決のための次の練習(T)のメニューを子どもたちが考え、練習して次の試合(M)に臨むように大人が働きかけ、支援していくことが必要だということになります。

学年の発達段階・サッカーの理解度(サッカーに関する引き出しがどれだけ豊かか)が関わってきますが、試合の後、どの学年にも

「次の練習どんな練習をしたらいいかな？」と問いかけていくことが必要ですね。そして、出てきた子どもたちの考えを尊重し、メニューと一緒に考えてあげる指導者でありたいですね。自分たちで考え、決めたと子どもたちが思えることを大切にしたいですね。

練習のメニューは、子どもたちの考えとそれを補完すべき指導者の考えとのコラボになりますね。
by 南の安版万

9月1日(日)のU-12多摩平戦 尾川コーチの講評

…周りを観て判断…

夏休みの中断期間明けの1試合目で、後期リーグ1位通過するためにとっても重要な試合でした。

夏前に比べ、周りからの声かけによるサポート、キーパーにバックパスを出した後の両サイドバックの開いて受けようとする姿勢などすごく良くなったと思います。

しかし、まだ、ボールを受ける前に、首を振って周りを観ることができない選手もおり、相手がいる側にボールを置いてしまい奪われてしまっていることがありました。受ける前に周りを観て相手の位置・スペースを最低限確認してトラップする方向を決めて欲しいと思います。

残り5戦を全勝してトーナメントに進みましょう！

by 尾川コーチ



北野街道にある家具屋さんの左奥の田んぼです。我が家から由井三に歩いていく途中にあります。観ると何故か癒やされるのです。カエルやドジョウがいないかなと覗き込んだりしています。

矢上が由井三小で44年前の初任の頃は、小比企・片倉にも田んぼがたくさんあったのですが、今はこの2枚だけです。初任の頃の由井三小の正門の前には自動車整備工場(今の小杉自動車、その頃は中島自動車)があり、その東側は田んぼや湿地で、沢ガニもいたのです。

1985年には基幹的農業従事者は346万人、30年後には177万人と半減しています。日本の工業製品を買ってもらうために、日本は低い関税で、近い将来は関税0で農産物を輸入することになってしまいました。日本の農業はどうなってしまうのでしょうか。農業に従事する教え子たちも心配です。

日本人の食料を外国に頼る、未来が危うく思えてなりません。遺伝子組み換え作物、ポストハーベストの農薬問題！！安全で美味しい日本の農作物を子ども達に残したいですね。農林水産業が創る美しい自然。山・川・海も残したいですね。

by 南の安版万